

地方独立行政法人川崎町立病院
令和4年度業務実績の評価結果

令和5年11月20日

川崎町

目 次

I はじめに	・・・ 1
II 年度評価の方法	・・・ 1～2
III 地方独立行政法人川崎町立病院令和4年度の業務実績に関する評価結果	
第1 全体評価	・・・ 3～4
第2 大項目評価	
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	・・・ 4
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	・・・ 4～5
3 財務内容の改善に関する事項	・・・ 5
4 その他業務運営に関する重要事項	・・・ 6
5 予算(人件費の見積りを含む。)収支計画及び資金計画	・・・ 6
6 短期借入金の限度額	・・・ 6
7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときの計画	・・・ 6
8 剰余金の使途	・・・ 6～7
9 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	・・・ 7
第3 参考資料	
(1) 小項目評価の集計結果表	・・・ 8
(2) 令和4年度損益計算書	・・・ 9

I はじめに

地方独立行政法人川崎町立病院（以下「町立病院」という。）は、川崎町立病院の業務を継承して、平成 23 年 4 月に新たに独立行政法人として発足したものである。

今回の町立病院の業務実績の評価は、平成 31 年 3 月に川崎町長が認定した第 3 期中期目標（令和元年度～4 年度）の最終年度にあたる令和 4 年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）の達成度についての評価である。

町立病院から提出された「地方独立行政法人川崎町立病院事業実績報告書」に基づき、町立病院からヒアリングを行った地方独立行政法人川崎町立病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見や評価を参考に、令和 4 年度における業務の実績に関する評価（以下「年度評価」という。）を行った。

地方独立行政法人川崎町立病院評価委員会 委員名簿

役 職	氏 名	職 名
委員長	荒 木 久 昭	医 師
副委員長	政 時 喜 久 美	町議会議員
委 員	石 田 智 恵 美	福岡県立大学教授
委 員	井 上 馨	町民代表
委 員	佐 竹 繁 利	町民代表（税理士）

（役職、50 音順）

II 年度評価の方法 【P 8 小項目評価の集計結果表参照】

（年度評価の基本方針）

（1）年度評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、町立病院の業務運営等について多面的な観点から総合的に評価を行い、評価を通じて法人の継続的な質的向上に資するものとする。

（2）年度評価を通じて、町立病院の中期目標・中期計画の達成に向けた取り組み状況を町民にわかりやすく示すものとする。年度評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、町立病院による自己評価をもとに、評価委員会のヒアリング等を通じて、町立病院による自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた達成状況を確認した。

また、全体評価では項目別評価結果等を踏まえつつ、中期計画等の達成状況について総合的な評価を行った。

なお、項目別評価と全体評価の方法は、以下のとおりである。

（小項目評価）

町立病院が、年度計画を小項目ごとに次の 5 段階で自己評価を行った業務

実績報告書に基づき、5段階評価を行う。

- 5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
- 4・・・年度計画を上回って実施している。
- 3・・・年度計画を順調に実施している。
- 2・・・年度計画を十分に実施できていない。
- 1・・・年度計画を大幅に下回っている。

(大項目評価)

小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行う。

- S・・・中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
(特に認める場合)
- A・・・中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。
(すべての小項目評価結果が3～5)
- B・・・中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおり進んでいる。
(小項目評価結果が3～5の割合が9割以上)
- C・・・中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
(小項目評価結果が3～5の割合が9割未満)
- D・・・中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。
(特に認める場合)

(全体評価)

- (1) 項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行う。
- (2) 全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取り組み（法人運営における自立性・機動性の発揮、財務内容の改善など）を積極的に評価することとする。

Ⅲ 地方独立行政法人川崎町立病院令和4年度の業務実績に関する評価結果

第1 全体評価

1 町の評価結果

年度評価の結果としては、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」の大項目についてはC評価（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）、また「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の大項目についてはA評価（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。）、そして「財務内容の改善に関する事項」の大項目についてはC評価（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）であった。

全体評価としては、全22小項目中、3～5の評価数が19項目と、小項目全体に占める3～5の評価結果の割合が9割未満のため、C評価（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている）が妥当と判断した。

2 全体評価に当たって考慮した事項

(1) 主な取り組みや特色ある取り組み

地方独立行政法人移行後13年目、第3期中期計画最終年度を迎え、年度計画、中期計画を見据え業務に取り組んだ。しかし、新型コロナウイルス感染症流行3年目で、引き続き病院運営や経営に影響を受けた年度であった。

- 自院や田川圏域の状況の変化に応じ、病床機能や病床数の見直しを実施した。田川圏域で過剰となっている慢性期病床を96床から4床減らして92床とした。また前年度から引き続き個室2床をコロナ病床とし、11名のコロナ陽性患者を受け入れた。
- レスパイト入院制度導入に取り組んだ。年度途中からの取り組みであったが、パンフレットの作成及び包括支援センターや高齢者施設への周知活動を積極的に行った。その効果もあり、10件ほどの問い合わせがあり、2件の利用に繋がった。
- 人材確保の面では、法人職員の医師は院長のみであったが、令和4年4月より九州大学第1内科の医師を副院長として招聘した。前年度、常勤医師は3人だったが、令和4年度は派遣の常勤医師2人と合わせて4人体制となった。

医師以外の職種については、令和3年度末で川崎町役場からの派遣が終了し、事務係長職が不在であったが、令和4年4月から民間病院での経験者を係長として招聘した。

- 経営面については、ここ数年赤字収支が続いていたが、令和4年度は1,288千円の純利益となった。理由としては、他の医療機関との連携

を強化し、入院収益が大幅に増加したことや経営コンサルタントを入れ専門的な経営分析ができたことも要因の1つと考える。

第2 大項目評価

- 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
地域における医療供給体制の維持について、コロナウイルス感染症流行により限られた人員と設備の中で、川崎町唯一の公立医療機関として現状の医療供給体制を維持した。

全体評価でも触れたが、地域医療構想における病床再編計画に基づき、慢性期病床の4床減やレスパイト入院の導入を行った。

令和4年4月に院内でパワーハラスメント行為があり、加害者には規定に従い懲戒処分を下した。再発防止のため全職員に対し動画研修を実施した。

(1) 評価結果

C評価（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）

(2) 評価の判断理由

全11小項目中、9小項目の評価が3～5で、3以上の評価が9割未満だったためC評価と判断した。

(3) 年度計画に対する実施状況及び評価委員会の意見

・小評価項目の「快適な医療環境を提供するため、環境整備や施設の補修・改善などを実施する。」の項目で建設から30年が経過し、町立病院も老朽化してきている。特に外壁については修繕が必要な状態となっている。修繕するには多額の費用が必要だが、費用はどのように捻出するのか。今後、老朽化に備えて修繕資金を確保する方法を考えるべきである。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

病院運営の基盤となる人材確保と育成について、医師は前年度から引き続き福岡県から自治医科大学出身の内科常勤医師2名を派遣していただいた。令和4年4月より九州大学第1内科の医師を副院長として迎え入れることができた。他職種については、事務長職に続き、民間病院で経験のある人材を法人職員として事務職係長に雇用した。また看護師については、新型コロナウイルス感染症拡大時や、病気や子育てを理由とした夜勤免除の看護師が増加した中、看護師派遣等を活用して対応した。

令和4年より経営コンサルティングを導入し、4月から6月までの3ヶ月間経営分析がおこなわれ、経営改善計画を策定した。入院収益の大幅な増加もあり令和4年度は1,288千円の純利益となった。また、コンサルタントがすべての職員と面談して各自の思いや考えを聞き、若い職員の意見も吸い上げることができた。

また、経営状況が厳しいこともあり、管理職の手当及び賞与をカットし、人件費の削減に取り組んだ。

(1) 評価結果

A評価（中期目標・中期計画の達成のため計画どおり進んでいる。）

(2) 評価の判断理由

全 10 小項目中、10 小項目の評価が 3～5 で、すべての小項目評価が 3～5 であるため A 評価と判断した。

(3) 年度計画に対する実施状況及び評価委員会の意見

- ・ここ数年不在だった副院長を招聘できたことは良かったが、もともとの常勤医師 4 人体制に戻ったということである。大変だと思うが、医師の確保は病院経営の根幹であるため、今後も医師の確保に努力してもらいたい。

- ・経営コンサルティングの導入により、専門家による経営状況の分析ができたこと、若い職員が上層部へ自分の意見や構想をいえる環境ができたことは良かった。

- ・本来の医療による収益のみで考えると十分とは言えないが、入院収益の大幅な増加等もあり、純利益となったことは評価できる。引き続き経営改善計画に沿って努力してほしい。

- ・令和 4 年度は入院収益の増加もあったが、純利益となったのはコロナ病床設置等による感染症対策による多額の補助金によるところが大きく、新型コロナウイルス感染症が第 5 類となったことで、令和 5 年度も経営状況は引き続き苦しいことが予想される。

- ・手当や賞与の削減はいつまで続くのか。このままでは職員のモチベーションや新規雇用などに影響があるのではないか。

3 財務内容の改善に関する事項

当期純利益 1,288 千円で黒字収支となり、繰越欠損金に同額の充当を行った。しかし、病院も建設から 30 年が経過し、老朽化による設備投資等の資金を確保する必要がある。

(1) 評価結果

C 評価（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）

(2) 評価の判断理由

町立病院も平成 5 年 4 月に完成して 30 年が経過した。今後老朽化が懸念され、外壁は修繕が必要な状況になりつつある。令和 4 年度は黒字収支となったが、ここ数年赤字収支が続いたこともあり、多額の財源を必要とする病院の建て替えや改修に備え、財源の積み立てができていないことや、財源確保の具体的方策も示されていないため評価を C とした。

(3) 年度計画に対する実施状況及び評価委員会の意見

- ・多額の財源を必要とする建て替えや改修等の将来の設備投資に備えた財源の確保について具体的な方法が示されていない。

- ・町立病院の経営が苦しいことは分かるが、地域医療機関の中心的役割を果たすためにも先を見据えた実効性のある予算計画への見直しを随時行って頂きたい。

4 その他業務運営に関する重要事項

電子カルテシステムの導入については収支状況を考慮して検討した結果、今年度中の導入は見送ることになった。

(1) 評価結果

C評価（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）

(2) 評価の判断理由

電子カルテシステムの導入については収支状況を考慮して検討した結果、翌年度以降に先送りしたため評価をCとした。

5 予算（人件費の見積りを含む。）収支計画及び資金計画

業務運営体制の効率化に関する目標を達成するための計画を確実に実施することにより、全体の財務内容の改善を図る。

(1) 評価結果

B評価（中期目標・中期計画の達成のためには概ね計画どおり進んでいる。）

(2) 評価の判断理由

予算、収支計画及び資金計画については、収支が黒字となり当期純利益が1,288千円となったことを評価した。

6 短期借入金の限度額

限度額3億円。

今年度も年度計画で想定された短期借入金を要する資金不足の状況は発生せず、事業資金は自己資金で賄った。

(1) 評価結果

A評価（中期目標・中期計画の達成のためには計画どおり進んでいる。）

(2) 評価の判断理由

年度計画で想定された短期借入金を要する資金不足の状況は発生せず、事業資金を自己資金で賄うことができたので評価をAとした。

7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときの計画

年度計画はない。

(1) 評価結果

令和4年度は、該当がないため評価の対象外とした。

8 剰余金の使途

決算において剰余金を生じたときは、将来の投資（病院建物の整備、修繕、医療機器等の購入等）及び地方独立行政法人法第40条により処理する。

令和4年度は決算において1,288千円の当期純利益となり、そのまま同

額を繰越欠損金に充当することができた。

(1) 評価結果

B評価（中期目標・中期計画の達成のためには概ね計画どおり進んでいる。）

(2) 評価の判断理由

令和4年度は、1,288千円の純利益となり、繰越欠損金に充当したことを評価した。

(3) 年度計画に対する実施状況及び評価委員会の意見

ここ数年純利益が出なかったが、令和4年度は入院収益の大幅な増加もあり、純利益が出たことを評価したい。

9 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

年度計画はない。

(1) 評価結果

令和4年度は、該当がないため評価の対象外とした。

(1) 小項目評価の集計結果表

大項目	中項目	小項目	細目	R04 評価
1 住民に対して提供するサービス その他の業務の質の向上に関する事項 (3～5の評価の割合が9/11であり 3以上の評価が9割未満のためC 評価)	1 良質な医療の提供	(1) 地域における医療供給体制の維持		3
		(2) 救急医療の取組		3
		(3) 患者満足度の向上		3
		(4) 医療安全対策の充実		3
		(5) 快適な医療環境の提供		2
		(6) 法令遵守の取組	① 法令・行動規範の遵守 ② 医薬品管理体制の充実 ③ 診療情報開示等の適切な対応	2 3 3
		(7) 地域の医療機関との連携		4
		(8) 地域包括ケアシステムの推進		3
		(9) 災害時における体制及び訓練		3
	2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 (すべての項目の評価が3以上 (10/10) であるためA評価)	1 医療者の人材確保及び育成	(1) 医療者の人材確保	① 医療スタッフの確保
② 看護師及び医療技術職員等の 人材確保				3
③ 育児支援による人材確保				3
④ 障がい者の人材確保				3
(2) 職員の人材育成		① 医療者の人材育成	4	
		② 事務部門の人材育成	3	
		(1) 安定した経営体制の維持		4
		(2) 収益の確保		4
2 経営管理機能の充実		(3) 費用の節減		3
		(4) 人事評価制度の構築		3
3 財務内容の改善に関する事項 (小項目評価が2のためC 評価)		(1) 保	将来の設備投資に向けた財源の確保	2

令和 4 年度 決算 報告 書

【地方独立行政法人川崎町立病院】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算額－予算額)	備考
収入				
営業収益	900,535,000	923,394,116	22,859,116	
医業収益	862,544,000	878,253,080	15,709,080	
入院収益	570,025,000	601,603,373	31,578,373	
外来収益	279,648,000	266,977,017	▲ 12,670,983	
その他医業収益	12,871,000	9,672,690	▲ 3,198,310	
運営費負担金	37,991,000	45,141,036	7,150,036	
資産見返物品受贈額戻入	0	0	0	
営業外収益	42,345,000	85,240,647	42,895,647	
運営費負担金	22,190,000	23,136,505		
補助金等収益	6,157,000	47,955,000	41,798,000	
営業外収益	13,998,000	14,149,142	151,142	
臨時利益	1,000	0	▲ 1,000	
資本収入	67,034,000	67,034,363	363	
長期借入金		0	0	
その他資本収入	67,034,000	67,034,363	363	
計	1,009,915,000	1,075,669,126	65,754,126	
支出				
営業費用	952,030,000	972,776,437	20,746,437	
医業費用	903,708,000	926,048,956	22,340,956	
給与費	570,051,000	592,883,786	22,832,786	
材料費	196,478,000	184,495,653	▲ 11,982,347	
経費	133,627,000	147,790,923	14,163,923	
資産減耗費	2,000	0	▲ 2,000	
研究研修費	3,550,000	878,594	▲ 2,671,406	
一般管理費	48,322,000	46,727,481	▲ 1,594,519	
営業外費用	5,137,000	4,053,512	▲ 1,083,488	
臨時損失	720,000	720,000	0	
資本支出	108,854,000	102,524,823	▲ 6,329,177	
医療機器購入費	0	1,973,279	1,973,279	
機械備品購入費	1,000	0	▲ 1,000	
車両購入費	0	0	0	
償還金	108,852,000	100,551,544	▲ 8,300,456	
建設改良費	1,000	0	▲ 1,000	
奨学金貸付金	0	0	0	
計	1,066,741,000	1,080,074,772	13,333,772	
単年度資金収支(収入－支出)	▲ 56,826,000	▲ 4,405,646	52,420,354	

収入の部で、運営費負担金45,141,036円、営業外収益の運営費負担金のうち20,000,000円、資本収入の
その他資本収入67,034,363円の合計132,175,399円が川崎町からの負担金となっています。

